

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間
令和3年5月～令和4年4月



(弊社善導寺プラント)

江渚設備株式会社

令和4年5月15日

目 次

ページ

1	表 紙
2	目 次
3	環 境 経 営 方 針
4	取 組 対 象 組 織 の 概 要
5	実 施 体 制
6	(本社) 当 年 度 及 び 中 期 環 境 経 営 目 標
6-1	(プラント) 当 年 度 及 び 中 期 環 境 経 営 目 標
6-2	(全体) 当 年 度 及 び 中 期 環 境 経 営 目 標
7	当 年 度 の 主 要 な 環 境 経 営 計 画
8	(本社) 当 年 度 の 活 動 実 績 及 び 取 組 の 評 価
8-1	(プラント) 当 年 度 の 活 動 実 績 及 び 取 組 の 評 価
8-2	(全体) 当 年 度 の 活 動 実 績 及 び 取 組 の 評 価
9	環 境 関 連 法 規 等 へ の 違 反 、 訴 訟 等 の 有 無
10	代 表 者 に よ る 全 体 評 価 と 見 直 し の 結 果
11	産 業 廃 棄 物 処 理 業 の 情 報 公 開 項 目
①-④	別 紙

環 境 経 営 方 針

当社の事業活動である土木工事及び改良土販売による環境への影響を、認識したうえで、資源の無駄を省き地球環境に配慮してまいります。

行 動 方 針

主な環境活動は以下の通りになります。

- 1 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
 - (1) 車両のエコドライブの推進や事務所の省エネルギーの推進で二酸化炭素排出量を削減する。
 - (2) 産業廃棄物の排出量の削減
 - (3) 一般廃棄物の排出量の削減
 - (4) 水の使用量の削減
 - (5) グリーン購入の推進
 - (6) 化学物質使用量の削減
 - (7) 改良土使用販売推進
- 2 関係する環境関連法規を遵守します。
- 3 行政機関・団体などの環境保全施策に協力し、地域社会における環境保全活動に参画し、社会貢献活動を推進します。
- 4 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

令和2年1月15日 改定

江渚設備 株式会社

代表取締役 大坪 誠

取組対象組織の概要

事業者名及び代表者名

江渚設備株式会社

代表取締役 大坪 誠

所在地(本店)

〒839-0863

福岡県久留米市国分町1172-5

環境管理責任者氏名及び担当連絡先

責任者 (本店) 江渚 裕太

事務局 山本 富士美

連絡先

TEL:0942-50-0770

FAX:0942-50-0771

E-mail:ebuchi_setsubi@yahoo.co.jp

善導寺プラント

〒839-0822

福岡県久留米市善導寺町木塚319-1

環境管理責任者氏名及び担当連絡先

責任者 (善導寺プラント) 江渚 裕太

連絡先

TEL:0942-47-3808

FAX:0942-47-1123

事業内容

建設業

☆建設業許可

許可番号

福岡県知事許可(般-24)第102615号

改良土製造施設承認証

許可番号

24企画第2517-2号

産業廃棄物処分業許可

許可番号

久留米市許可 11220145279号
許可年月日 平成29年10月15日

産業廃棄物収集運搬業許可

許可番号

福岡県知事許可 04000145279号
許可年月日 平成29年10月15日

産業廃棄物収集運搬業許可

許可番号

佐賀県知事許可 04103145279号
許可年月日 平成29年10月15日

事業の規模

法人創立:平成19年12月9日

資本金:3,000万

事業年度9月～翌年8月(ただしEA21では5月～翌年4月を対象期間としている)

	単位	令和2年	令和3年	令和4年
売上高	百万円	485.05	376.76	
従業員数	人	23	24	
延べ床面積	m ²	365.58	365.58	365.58

認証・登録範囲

対象事業所:本社、善導寺改良土施設

対象活動 :土木事業、とび・土工事業、管工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業
水道施設工事業、解体工事業、改良土製造販売、産業廃棄物処理業(中間処理)

実施体制



所属 役割・責任・権限

代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・環境目標、環境活動計画を作成する ・6ヶ月に1回環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する ・上記の結果を代表者に報告する
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類及び基礎データの作成 ・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ・環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を遵守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環境経営目標（ 本社事務所＋建設業 ）

環境経営目標		単位	(令和2年度) 令和2年5月～令和3年4月 基準値	(令和3年度) 令和3年5月～令和4年5月 目標値	(令和4年度) 令和4年5月～令和5年6月 目標値	(令和5年度) 令和5年5月～令和6年7月 目標値
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	109,348.41	109,239.17	109,130.15	109,021.35
2	産業廃棄物排出量の削減 (コンクリート塊・AS塊など)	t	236.77	236.53	236.30	236.06
3	一般廃棄物排出量の削減	kg	132.0	131.9	131.7	131.6
4	水使用量の削減	m ³	90.0	89.9	89.8	89.7
5	化学物質使用量の削減	kg	0.00	0.00	0.00	0.00

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2019年度調整後排出係数0.371kg-CO₂/KWhを用いています。

環境経営目標（善導寺プラント）

環境経営目標		単位	(令和2年度) 令和2年5月～令和3年4月 基準値	(令和3年度) 令和3年5月～令和4年5月 目標値	(令和4年度) 令和4年5月～令和5年6月 目標値	(令和5年度) 令和5年5月～令和6年7月 目標値
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	367,814.51	367,447.06	367,080.35	366,714.37
2	産業廃棄物排出量の削減 (コンクリート塊・AS塊など)	t	16	15.98	15.97	15.95
3	一般廃棄物排出量の削減	kg	177.6	177.4	177.2	177.1
4	水使用量の削減	m ³	1,357.0	1,355.6	1,354.3	1,352.9
5	改良土出荷量	m ³	21,439.3	21,460.7	21,482.2	21,503.6

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2019年度調整後排出係数0.371kg-CO₂/KWhを用いています。

環境経営目標（本社事務所＋建設業及び善導寺プラント）

環境経営目標		単位	(令和2年度) 令和2年5月～令和3年4月 基準値	(令和3年度) 令和3年5月～令和4年5月 目標値	(令和4年度) 令和4年5月～令和5年6月 目標値	(令和5年度) 令和5年5月～令和6年7月 目標値
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	477,162.92	476,686.23	476,210.50	475,735.71
2	産業廃棄物排出量の削減 (コンクリート塊・AS塊など)	t	252.77	252.52	252.27	252.01
3	一般廃棄物排出量の削減	kg	309.6	309.3	309.0	308.7
4	水使用量の削減	m ³	1,447.0	1,445.6	1,444.1	1,442.7
5	化学物質使用量の削減	kg	0	0	0	0
6	改良土出荷量	m ³	21,439.3	21,460.7	21,482.2	21,503.6

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2019年度調整後排出係数0.371kg-CO₂/KWhを用いています。

環境経営計画

環境目標を達成するために次のような環境活動を実施しました。

活動項目				
	場 所	担当者	期 間	
二酸化炭素排出量の削減	事務所 建設現場 善導寺	江 渚 大 坪 江 渚	通 年 通 年 通 年	昼休み時は消灯を徹底する 冷房は28度、暖房は26度を維持する 車両停止時のアイドリングをやめる 急発進・急停止をしない、エコドライブに努める 車両に不必要な荷を積み込まない
一般廃棄物排出量の削減	事務所 建設現場 善導寺	山 本 大 坪 江 渚	通 年 通 年 通 年	コピー用紙の裏紙使用 コピーのミスをしないよう削減に努める ゴミの分別の徹底又は減量に努める
水使用量の削減	事務所 建設現場 善導寺	山 本 大 坪 江 渚	通 年 通 年 通 年	水道使用時は必要以上に蛇口を開けない及び止水の確認 散水車使用時は川の水を利用する 施設内散水時は井戸水を使用する
産業廃棄物量の削減	事務所 建設現場 善導寺	江 渚 大 坪 江 渚	通 年 通 年 通 年	資材の点検整理整頓し無駄な資材の購入を控える 資材の保管は風雨をできるだけ避けて倉庫に保管する 資材の再利用できるものは再利用する 一般ごみ・産業廃棄物の減量に努める ゴミ排出減量のため製品の再利用が可能な限り使用する
改良土出荷量	善導寺	江 渚	通 年	工事入札結果が出たら改良土の営業をかける 品質管理のため毎月改良土を試験に出す
グリーン購入の推進	事務所	山 本	通 年	エコマーク認定商品購入の推進

環境経営計画の評価

活動項目						
	場 所	担当者	期 間	活 動 内 容		
二酸化炭素排出量の削減	事務所 建設現場 善導寺	江 渚 大 坪 江 渚	通 年 通 年 通 年	昼休み時は消灯を徹底する 冷房は28度、暖房は26度を維持する 車両停止時のアイドリングをやめる 急発進・急停止をしない、エコドライブに努める 車両に不必要な荷を積み込まない	○ ○ ○ ○ ○	消灯を徹底した 維持できた アイドリングをやめた エコドライブをできた 必要な分だけ準備した
一般廃棄物排出量の削減	事務所 建設現場 善導寺	山 本 大 坪 江 渚	通 年 通 年 通 年	コピー用紙の裏紙使用 コピーのミスをしないよう削減に努める ゴミの分別の徹底又は減量に努める	○ ○ ○	裏紙使用を徹底した 分別を徹底した
水使用量の削減	事務所 建設現場 善導寺	山 本 大 坪 江 渚	通 年 通 年 通 年	水道使用時は必要以上に蛇口を開けない及び止水の確認 散水車使用時は川の水を利用する 施設内散水時は井戸水を使用する	○ ○ ×	節水ができた 川の水を使用した 水道も使用した
産業廃棄物量の削減	事務所 建設現場 善導寺	江 渚 大 坪 江 渚	通 年 通 年 通 年	資材の点検整理整頓し無駄な資材の購入を控える 資材の保管は風雨をできるだけ避けて倉庫に保管する 資材の再利用できるものは再利用する 一般ごみ・産業廃棄物の減量に努める ゴミ排出減量のため製品の再利用が可能な限り使用する	○ ○ ○ ○ ○	資材管理できた 倉庫での保管を行った リサイクルに努めた 分別を徹底した 再利用した
改良土出荷量	善導寺	江 渚	通 年	工事入札結果が出たら改良土の営業をかける 品質管理のため毎月改良土を試験に出す	○ ○	営業をかけた 品質管理できた
グリーン購入の推進	事務所	山 本	通 年	エコマーク認定商品購入の推進	○	購入するように努めた

当年度の活動実績及び取組の評価

事務所及び建設業

令和3年5月～令和4年4月までのエコアクション21を運用した実績結果は次のとおりです。

環境経営目標		単位	目標 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	評価内容	次年度取組内容
二酸化炭素 の削減	二酸化炭素	kg-CO ₂	109,239.17	97,839.53	目標達成できた	現状維持に努める
産業廃棄物 の削減	総量	t	236.53	169.40	目標達成できた	現状維持に努める
一般廃棄物 の削減	総量	kg	131.9	132.0	目標達成できなかった	ゴミの分別を徹底し、 ゴミの削減に努める
水 の使用量 の削減	総量	m ³	89.9	85.0	目標達成できた	従業員の節水意識を徹底する
化学物質 の使用量の削減	総量	kg	0.0	0.0	使用しなかった	工事高により使用材料数量が 変わるため目標設定が できない

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2019年度調整後排出係数0.371kg-CO₂/KWhを用いています。

当年度の活動実績及び取組の評価

善導寺プラント

令和3年5月～令和4年4月までのエコアクション21を運用した実績結果は次のとおりです。

環境経営目標		単位	目標 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	評価内容	次年度取組内容
二酸化炭素 の削減	二酸化炭素	kg-CO ₂	367,447.06	334,538.77	目標達成できた	現状維持に努める
産業廃棄物 の削減	総量	t	16.00	10.50	目標達成できた	現状維持に努める
一般廃棄物 の削減	総量	kg	177.4	177.6	目標達成できなかった	ゴミの分別を徹底し、 ゴミの削減に努める
水 の使用量 の削減	総量	m ³	1,357.0	1,376.0	目標達成できなかった	従業員の節水意識を徹底する
改良土の 出荷量	総量	m ³	21,460.7	50,893.5	改良土を使用する工事が多かった	工事高により使用材料数量が 変わるため目標設定がで きない

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2019年度調整後排出係数0.371kg-CO₂/KWhを用いています。

当年度の活動実績及び取組の評価

事務所+建設業及び善導寺プラント 令和3年5月～令和4年4月までのエコアクション21を運用した実績結果は次のとおりです。

環境経営目標		単位	目標 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	評価内容	次年度取組内容
二酸化炭素 の削減	二酸化炭素	kg-CO ₂	476,686.23	432,378.30	目標達成できた	現状維持に努める
産業廃棄物 の削減	総量	t	252.52	179.90	目標達成できた	現状維持に努める
一般廃棄物 の削減	総量	kg	309.3	309.6	目標達成できなかった	ゴミの分別を徹底し、 ゴミの削減に努める
水使用量 の削減	総量	m ³	1,445.6	1,461.0	目標達成できなかった	従業員の節水意識を徹底する
化学物質 の使用量の削減	総量	kg	0.0	0.0	使用しなかった	工事高により使用材料数量が 変わるため目標設定ができな い
改良土の 出荷量	総量	m ³	21,460.7	50,893.5	改良土を使用する工事が多かった	工事高により使用材料数量が 変わるため目標設定ができな い

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2019年度調整後排出係数0.371kg-CO₂/KWhを用いています。

環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

弊社事業活動に関わる環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情等はありませんでした。

当社に係る環境関連法規

関連法規	該当事業所・業務	遵守状況確認
廃棄物処理法	本社・建設業:産業廃棄物収集運搬業	○
	善導寺プラント:産業廃棄物処分業	○
騒音規制法	本社・建設業:特定建設作業	○
	善導寺プラント:特定施設	○
振動規制法	本社・建設業:特定建設作業	○
	善導寺プラント:特定施設	○
大気汚染防止法	善導寺プラント:一般粉塵発生施設	○
フロン排出抑制法	本社:空調機簡易点検	○

確認日:令和3年5月15日

代表者による全体評価と見直しの結果

今期の売上高は前期に比べて減少した。全体的に工事件数が増加したが改良土プラント施設で受け入れる工事現場からの建設発生土の受入数量と改良土製造出荷量は増加した。

環境目標にかんしては概ね達成でき、今後も従業員への節水、節電等の意識を徹底していきたい。

環境目標は売上高減少に伴い、建設業と善導寺プラント施設でそれぞれの分野での削減にはでき、数値面では建設業は工事受注件数と受注金額により変動があり目標達成ができた。

善導寺プラント周辺の環境配慮には今後も考慮していきたい。

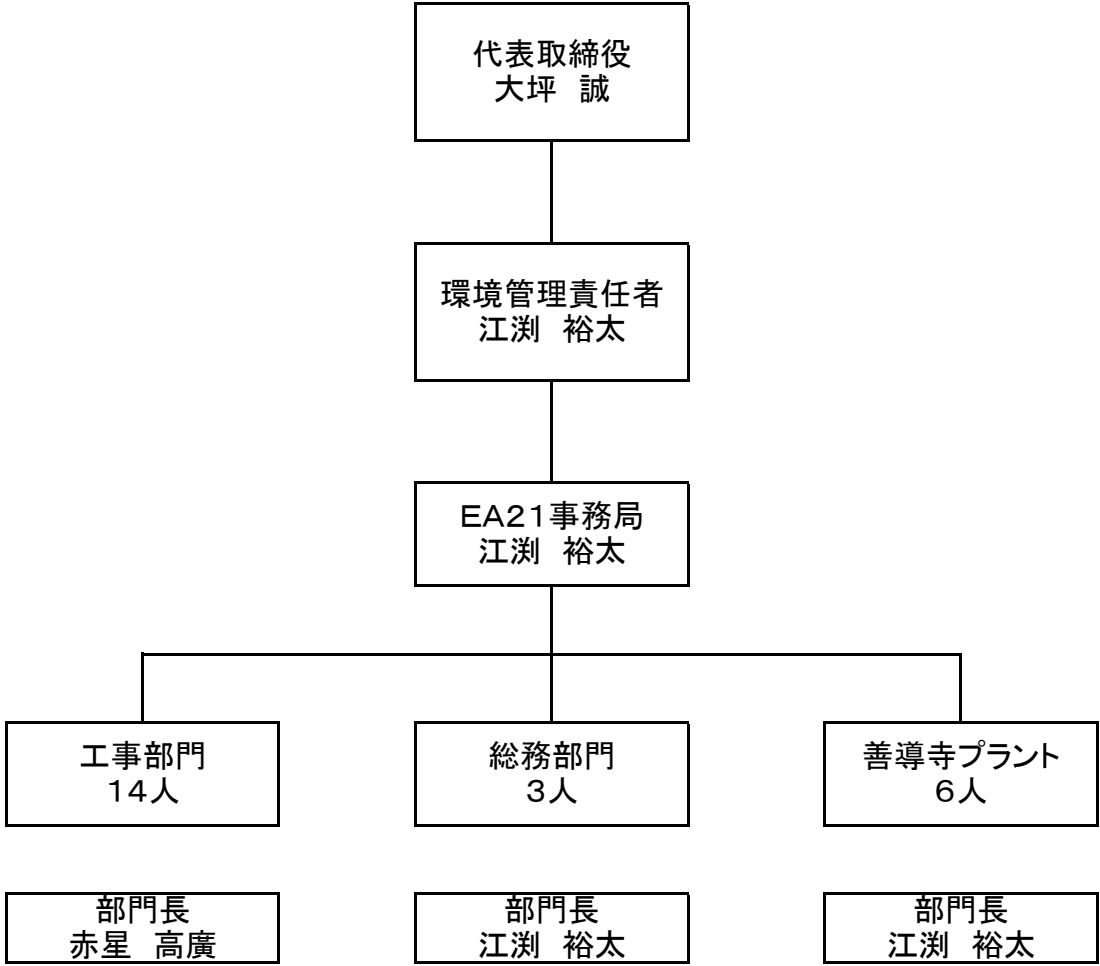
省エネは普段の節電、節水、機械の稼働時間、所領の整備、燃費消費等を把握し計画を実行していくが、天候に左右される事がある難しい側面もある。今後も産業廃棄物処理業は関係法令事項を遵守してリサイクル活動をとって循環型社会貢献に寄与していきたい。

産 業 廃 棄 物 処 分 業 の 情 報 公 開

商 所 法 資 売 組 産 業 許 可 番 号	在 立 本 上 織 業 廃 棄 物 処 分 業 許 可 番 号	号 地 日 金 高 図 業 号	江 渚 設 備 株 式 有 限 公 司 福 岡 県 久 留 米 市 国 分 町 1172-5 2007年12月5日 30,000,000円 485,056千円 別紙① 久留米市産業廃棄物処分業許可 許可番号:11220145279 許可の年月日:平成29年10月15日 許可有効年月日:令和4年10月14日
産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 番 号	産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 番 号	産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 番 号	産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 福 岡 県 許 可 番 号 :04000145279 許可の年月日:平成30年10月21日 許可有効年月日:令和5年10月20日 産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 佐 賀 県 許 可 番 号 :04103145279 許可の年月日:平成30年10月15日 許可有効年月日:令和5年10月14日
事 業 計 画 概 要 事 業 範 囲	事 業 計 画 概 要 事 業 範 囲	事 業 計 画 概 要 事 業 範 囲	別紙② 中間処理(混合) ばいじん(紙製造業から発生するものに限り、紙汚泥の焼却 に伴うばいじんに限る。) 中間処理(造粒固化) ばいじん(紙製造業から発生するものに限り、紙汚泥の焼却 に伴うばいじんに限る。) ばいじん(石炭の焼却に伴うばいじんに限る。) 産業廃棄物収集運搬業 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目につ きは、自動車等破砕物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴ くず、がれき類(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、 ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物を 含む。)を収集し中間処理場に搬入する。 車両運搬:3tダンプ2台・4tダンプ1台・10tダンプ5台 積替なし ばいじん(紙製造業から発生するものに限り、紙汚泥の焼却 に伴うばいじんに限る。) 処理方法 混合 (造粒固化含む) 124t/日 ばいじん(石炭の焼却に伴うばいじんに限る。) 処理方法 混合 (造粒固化含む) 240t/日
台 積 替 保 管 施 設 面 積 ・ 保 管 上 限 量	台 積 替 保 管 施 設 面 積 ・ 保 管 上 限 量	台 積 替 保 管 施 設 面 積 ・ 保 管 上 限 量	車 両 運 搬 :3tダンプ2台・4tダンプ1台・10tダンプ5台 積替なし
処 理 施 設 種 類 、 処 理 産 業 廃 棄 物 種 類 、 処 理 能 力 (規 模)	処 理 施 設 種 類 、 処 理 産 業 廃 棄 物 種 類 、 処 理 能 力 (規 模)	処 理 施 設 種 類 、 処 理 産 業 廃 棄 物 種 類 、 処 理 能 力 (規 模)	ばいじん(紙製造業から発生するものに限り、紙汚泥の焼却 に伴うばいじんに限る。) 処理方法 混合 (造粒固化含む) 124t/日 ばいじん(石炭の焼却に伴うばいじんに限る。) 処理方法 混合 (造粒固化含む) 240t/日
処 理 方 式 、 処 理 工 程 図	処 理 方 式 、 処 理 工 程 図	処 理 方 式 、 処 理 工 程 図	別紙③
処 理 実 績 (別 表 ②) 「受託した産業廃棄物 の処 理 量」	処 理 実 績 (別 表 ②) 「受託した産業廃棄物 の処 理 量」	処 理 実 績 (別 表 ②) 「受託した産業廃棄物 の処 理 量」	別紙④

組 織 図

江 湊 設 備 株 式 会 社



事業計画の概要

江渚設備株式会社

事業全体計画

産業廃棄物処分業

中間処理（混合）
ばいじん（紙製造業から発生するものに限り、紙汚泥の焼却に伴うばいじんに限る。）

中間処理（造粒固化）
ばいじん（紙製造業から発生するものに限り、紙汚泥の焼却に伴うばいじんに限る。）

ばいじん（石炭の焼却に伴うばいじんに限る。）

産業廃棄物収集運搬業

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、（以上3品目については、自動車等破砕物を除く、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類（廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物を含む。）を収集し中間処理場へ搬入する。

運搬車両一覧

車両の名称	型式・寸法	自動車登録番号	最大積載量
ダンプ	普通貨物	久留米400そ7515	3000kg
ダンプ	普通貨物	久留米400そ8864	3000kg
ダンプ	普通貨物	久留米100は121	3500kg
ダンプ	普通貨物	久留米130さ212	9000kg
ダンプ	普通貨物	久留米130さ213	8800kg
ダンプ	普通貨物	久留米130せ214	8800kg
ダンプ	普通貨物	久留米130す215	8800kg
ダンプ	普通貨物	久留米130さ216	8800kg

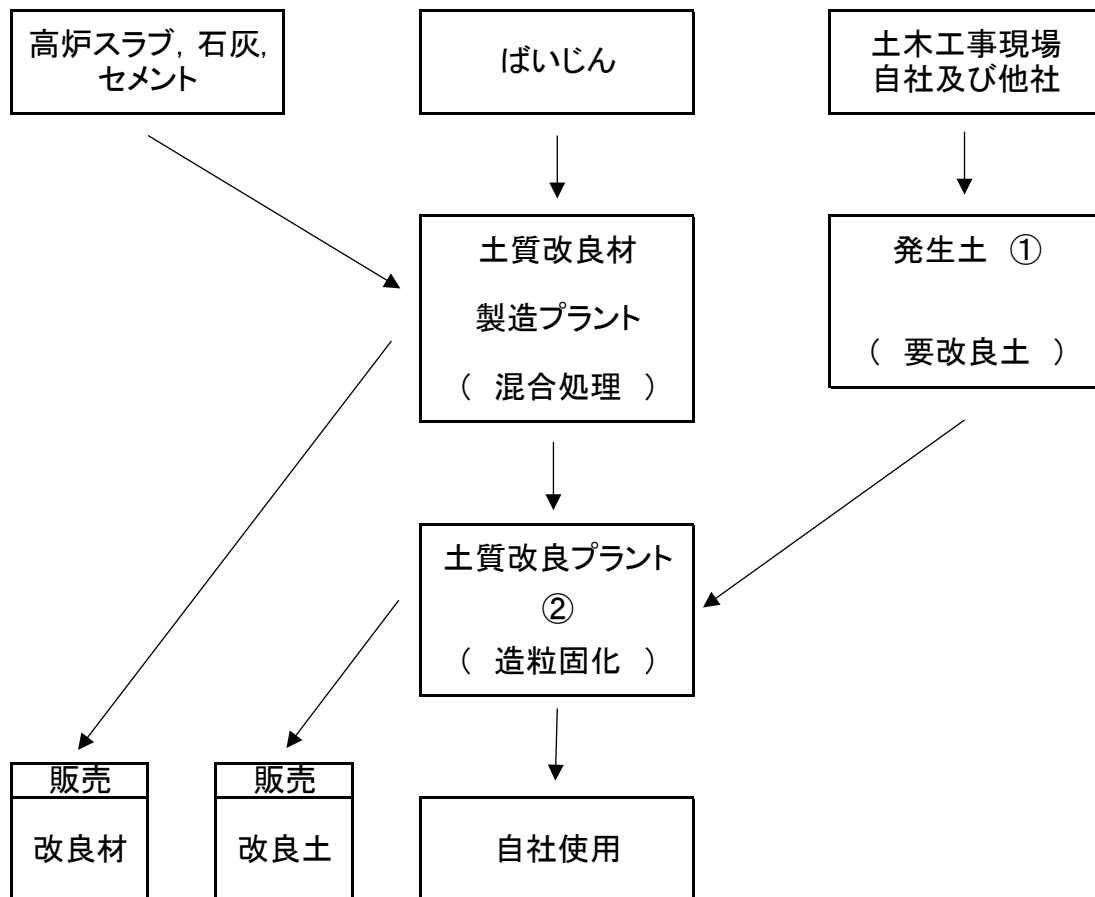
環境安全措置の概要

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、木くず、がれき類、ゴムくず、紙くず、繊維くず、は荷台をシートで覆う

積替保管施設において講ずる処置

積替なし

処理方式、処理工程図



- ① 建設発生土利用技術マニュアル:発生土の土質区分基準の第3種, 第4種及び泥土が(要改良土)となる
- ② 建設発生土利用技術マニュアル:発生土の土質区分基準の第2種相当の土質にするためのプラント

別紙④

受託した産業廃棄物の処理量

令和3年度(令和3年5月～令和4年4月まで)

処理方法等		廃棄物種類	処分方法等	処分量 (t)
(i)収集運搬				
収集運搬量合計				0.00
(ii)中間処理		石炭灰		540.66
		ペーパースラッジ灰		2752.82
	うち 再資源化等	石炭灰		540.66
		ペーパースラッジ灰		2752.82
再資源化等量小計				3293.48
中間処理合計				3293.48
(iii)最終処分				
最終処分量合計				0.00
(iv)中間 処理後の 産業廃棄物	最終処分			
	再資源化等	石炭灰	改良土の一部として出荷	540.66
		ペーパースラッジ灰	改良土の一部として出荷	2752.82
再資源化等量小計				3293.48
中間処理後処分量合計				3293.48